

わが家の 未来



甲津原で宿泊施設として8月29日にオープンする「そよも」。2年前、元の持ち主 姉川宗太郎さんがまいばら空き家対策研究会に空き家登録したことから、この家の新しい未来が始まりました。

(写真 姉川さんご一家)

問 市 米原近江地域協働課(米原庁舎)
☎52-6623 FAX 52-4539

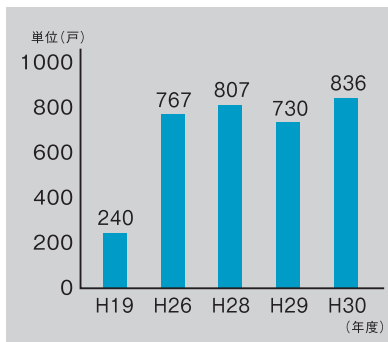
伊吹山テレビでも 紹介します！

「古民家を活用した宿
“そよも”がオープン！」
8月21日(金)～放送

■市公式YouTube
8月24日(月)～公開

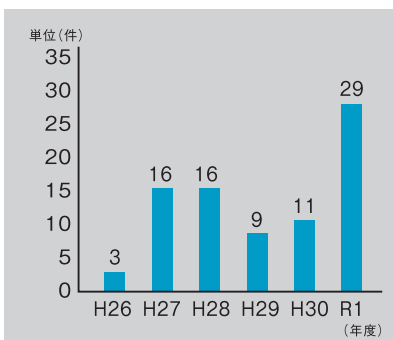


市内の空き家等の推移



市内の空き家の現状は
市内の空き家は年々増加傾向にあり、平成30年度の調査では、836戸の空き家が存在するところが分かっていきます。このまま放置しておく、老朽化が進み、地域の生活環境に悪影響を及ぼす危険な空き家になってしまいます。

市の空家バンク成約件数



まずは空き家登録を
「空き家に住みたい」と空家バンクに登録する移住希望者は、150人を超えるものの、空家バンクに登録されている物件はわずか50戸程度で、登録物件が不足しています。
この機会にぜひ、ご自身の大切な家の未来を考えてみませんか。

県内一位の 空き家成約実績

市では空き家を有効に活用するため、まいばら空き家対策研究会と連携して空き家バンク事業に取り組んでいます。

これまで84世帯、182人が空き家に住むなど空き家に住みたいという人は年々増加し、米原市の空き家成約実績は県内で一位です。



思い出とともに 新しい未来へ

そよもの元の家主 姉川宗太郎さんに
わが家への思いを伺いました。

記憶の中のわが家

家に帰ると母がいつも温かく迎えてくれて。
やっぱり一番の思い出は雪どけですね。

父が引き受けたオコナイ宿で、餅つきをした時にできた柱の傷も思い出の一つです。(写真左)

そよも元持ち主
あねがわ ぞう たろう
姉川 宗太郎さん

この地域の風習で、姉川家の当主 惣右衛門の愛称「そよも」がわが家の屋号でした。今も変わらず、地域のみなさんは親しみを込めて呼んでくださいます。



わが家を手放すこと

最初は抵抗がありました。でも、兄弟や家族みんなで相談して、「朽ちて壊してしまったら何も残らないし、活用してもらって誰かの役に立てるのが一番良いね」と決断しました。

空家バンクに登録して

まいばら空家対策研究会の方から丁寧に説明をもらううちに、不安や抵抗は消えていきました。

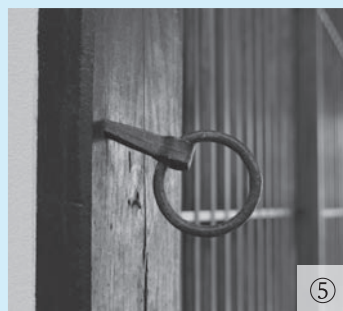
それに工務店のみなさんは柱や梁など、いろいろなものを活用してください。

見違えるようにきれいになった玄関の浜縁板も元の家材なんです。新しく生まれ変わって、でもどこか昔の面影も残っているように。思い出が消えないことが嬉しいです。

今は家族の大切な「そよも」が地域の活性化に貢献できることが嬉しいですね。
思い切って決断できて本当に良かったです。



②



⑤



④

After

- ①②居間/天井板は外し、昔ながらの天井や梁が見えるよう改修。
- ③④玄関/浜縁板は元の板をきれいに削って活用。
- ⑤囲炉裏用の薪を立て掛けるために使われていた留め具。囲炉裏は改修時に外されたものの、留め具は思い出の一部として残された。



①



③

Before

田辺工業株式会社
たなべ しのり
 社長 田邊 喜範さん

そよもの改修仕事を担当され、また、(一社)全国古民家再生協会 副理事長として空き家・古民家の活用に向けて取り組む田邊さん。改修に当たったの思いや、空き家・古民家の魅力について伺いました。



長い歴史が刻まれた跡を残して

初めてこの家を訪れたとき、昔ながらのかやぶき屋根の家で、素晴らしい材料でできた家だなと感じたことを覚えてます。もちろん、長く生活する中で傷みもありましたし、今では使われていない薪を束ねる金具や電気の碍子びしなどもありました。ただ、それも含めて持ち主である姉川さんご家族が生活されてきた歴史の跡なので、家族のみなさんが「残して良かったな」と思っていただけのことを一番に考えて改修しました。

古民家宿 そよもへの思い

そよもはこの家の屋号なんです。地域の皆さんが親しみを込めて呼んでおられる名前でもあつて、この名前を引き継いでいきたいと思ひ、宿の名前に決めました。

また、宿泊施設として新たにスタートを切ること、体験型観光の拠点となるほか、建物の管理という仕事が生まれます。それによりこの地域で働きたい、住みたいという人が増えることも期待しています。

川のせせらぎ、鳥のさえずりが穏やかに響く、豊かな自然あふれる本当に素敵な場所なので、ここに愛着を感じて移住する人が増えることを願っています。



工事から家具の調達まで、できる限り米原の事業者、職人さんに依頼。地域のみなさんの思いが込められた宿に。

次のステップに つなげるために

家を手放すことに葛藤もあると思いますが、空き家のままにしておくのだんだん朽ちてしまひ、先祖代々受け継いだものをいづれ壊さないといけなくなります。

古民家は、人が住み、使い続ければ、長く使用できます。手放すことでまた次の活用方法を考えられますし、家の寿命は延びます。

人が集う、宿泊する、食事をする、いろいろな場所に生まれ変わる可能性を秘めています。

ぜひ、空き家をそのままにしないで、空き家登録をすることで、新しいステップを踏み出してもらいたいです。



柱は伝統的技術でもある金輪継ぎで朽ちていた部分を根継ぎし修復。見える範囲のほとんどは元の木材が生かされています。

そよもInformation

☎・📠 0749-72-4550 (株式会社 KOMINKA 企画)
 所 甲津原457

オープン
8月29日(土)

- 利用人数 4人1棟貸し(最大8人)
- 客室 洋室 シングルベッド2台
和室 布団6セット
- 宿泊料金(素泊まり) 1棟(4人まで)1泊¥30,000~
*5人以上は追加1人につき¥8,000プラス



そよも管理人 鈴木 孝平さんご家族

3年前に甲津原に移住し、グリーンウッドワーク(生木を使った木工)に取り組む鈴木さん。“訪れた人のために、ここでしか味わえない自然を生かした、いろいろな体験プログラムも考えています”と語ります。



(一社)古民家再生協会滋賀
なか がわ あき ひこ
 事務局長 中川 明彦さん

平成30年9月、市は(一社)古民家再生協会滋賀と「空家等および古民家の活用に関する連携協定」を締結。古民家再生協会滋賀の事務局長として空き家活用に関するさまざまな相談に応じている中川さんにお話を伺いました。

空き家を活用して地域活性化へ

(一社)古民家再生協会滋賀では現在、主に東草野地域と柏原地域で、古民家や空き家を活用した取り組みを進めています。

地域のみなさんと古民家再生協会が連携しながらまちの魅力を高め、発信していくことで、米原を訪れる人を増やし、将来的には、移住定住の促進を目指しています。

東草野地域での取り組み

昨年10月に「びわ湖の素・米原古民家暮らし協議会」を立ち上げ、農林水産省の農山漁村振興交付金を受けながら、地域のみなさんと共に古民家宿「そよも」を整備しました。併せて、東草野の暮らしや自然、文化を生かした体験プログラム、地域の農産物や郷土料理を使った食事の提供なども検討しています。

まずは、この夏にオープンするそよもが地域のみなさんにも活用され、愛される宿泊施設になってほしいです。

そして、この地を訪れた人が地域のみなさんの温かさに触れ、ここを好きになって、リピーターになつてもらえると嬉しいのです。



料理セミナー(右)で紹介された伊吹そばアレンジレシピ「ぶっかけサラダそば」は甲津原の売店喫茶麻心で新メニューになりました(左)

柏原地域での取り組み

柏原宿に残る中山道の街並みは、他にはない、地域の大きな魅力です。この素晴らしい景観を残したい。そんな思いから昨年、地域のみなさんと「柏原宿活性化検討委員会」を発足。話し合いを重ね「柏原宿活性化プラン」を策定しました。

今年度は、策定したプランの実現に向けて、さらに詳細な計画を決めていきます。

柏原宿活性化プラン (令和2年3月作成)



古民家を活用したカフェ、宿泊施設等を整え「通りを賑わい空間とするしつらえづくり」を目指しています。

これからも、地域とともに

市と連携協定を結んで2年。いろいろなアイデアを出しながら温かく協力してくださる地元のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。これからもみなさんとともに米原の魅力をさらに発信していけたらと思います。

我が家の第二の人生は

大切な我が家を次の世代に引き継いでいくために、今後使わない可能性があれば、ぜひこの機会に家の未来を考えてみてください。

米原市空家・空地バンク
 まいばら空き家対策研究会

☎・FAX 56-1034 長岡1269
 平日8時30分～17時



市からの委託を受けて、空き家所有者や移住希望者からの相談窓口として空家バンクを運営。

7月からは新たに空き地の紹介もスタート!

空き家・空き地所有者と移住希望者のご縁をつなぎ、丁寧にサポートします。

空家バンクサポーター募集中!

空家バンク登録に向けて所有者の背中を押すサポーターを募集。現在17人が活躍中です! 謝礼/空家バンクへの登録で1件2千円、空家バンク登録物件の賃貸等が成立で1件5千円

家財道具の
 処分をお助け!

空家家財処分等補助金

対象/空家バンクの登録物件
 内容/上限5万円(補助率1/3)

問い合わせ
 市 米原近江地域協働課
 (米原庁舎)

☎52-6623 FAX 52-4539